

(株)大阪ソーダ尼崎工場

大阪ソーダは、実は化学のキープレイヤー
見えないけれど、身近なところで役立っています。



企業概要

- ・ 住所 尼崎市大高洲町 1 1 番地
- ・ 最寄駅 阪神尼崎駅からバス 1 0 分
- ・ 創業 昭和 6 年（1931年）
- ・ 従業員数 1 5 1 名

企業の特徴・事業内容など

大阪ソーダの基礎化学品は、創立以来の主力製品である、かせいソーダや塩素などのクロール・アルカリ製品群と、当社の機能化学品の原料にもなっているアリルクロライド（AC）、エピクロルヒドリン（EP）などで構成する事業です。

基礎化学品は、製品として幅広い産業に向けて販売されるだけでなく、大阪ソーダグループの多くの製品で原料として使用されます。特に特殊な性能をもつ当社の合成樹脂や合成ゴムの主原料であるアリルクロライドとエピクロルヒドリンは、大阪ソーダの差別化戦略の中核を担っており、経営基盤を支える付加価値チェーンの源となっています。

尼崎工場では、かせいソーダ（水酸化ナトリウム）、塩酸（塩化水素）など、1年365日休まず生産・製造しています。

人事担当者からのひとこと・先輩職員の声など

一人ひとりの個性を発揮できる職場です。
共に仕事がしたいと思える魅力ある職場です。